京城日日新聞

社說
鮮人の愚を憐む（下）
朝鮮日報の無期停止 自ら自由を破壞す

滿蒙鐵道豫定線變更並に新線設定に關する意見（四）
田中舍身

第七 吉林會寧線

熱光の下を（三）
曉谷

殖民地統治

非政友の聯盟

内外電報

赤化勞働者大會

過激派的性質を帯べる勞働者運動九月二十九日を期し全歐洲に行はるゝ計劃なり（巴里來電）

反過激派軍集中

米國軍備縮少調査

米國は各種の軍備縮少に關する議案を調査せり（紐育來電）

日米交渉案件内容 加州排日は一種の示威

目下日米兩國間に交渉せられつゝある案件は移民條約を締結せんとするにあり即ち現在日本政府が行ひつゝある移民制限を更に日本政府に於て確實に勵行する爲め之を條約とする代りに米國は現在米國に居留し居れる我居留民の待遇に就き差別的待遇を撤廢するにあり併し日本は現在在米邦人に對して移民絶對制限をなし居れる今日之を條約として確保するも日本としては何等の影響を受けず而して之に依つて在留同胞の米國に於ける差別撤廢を確保せらるゝとせば我が國としては益する所少からず此の協定に就て兩者の間に折衝を重ね居れるものなるべし而して加州に於ける排日一般投票は日米交渉の前途如何に拘らず實行すべしと認めらる而も右排日一般投票は一種の示威運動とも見らるゝを以て假令一般投票の成立を見たる上に於ても該問題解決せば之れを破壞することに非ざるべしと察せらる（東京來電）

米議員團の眞使命

今回來朝せる米國議員團一行の表面の理由は東洋觀光に過ぎざるも其の眞の要件は此の旅行に依りて得たる見聞を以て次回の大統領選擧に資せんとするに在るは推測に難からず然るに外務省は此の事實を知るや知らずや甚だ冷淡なるものあるは吾人の解せざる所にして一行歸國後の米國政界に多大の注意を拂はざるを得ずと某消息通は語れり（東京來電）

ウ政府軍陣容整ふ

ウエルフネウジンスク政府軍は二個旅團の兵力を以て前進準備をなしモフリンよりゴンコタに到る間に駐屯しつゝあり將校以下士氣旺盛にて前進命令を待ち居れるものゝ如し是れ日本軍との間に休戰條約あるが爲なり八月二十六日ソホンダに於てセミヨノフ軍がウエルフネ軍の通信手二名を捕縛せるがセミヨノフ軍にして之を殺害せば直にチタに前進すべしとゴンコタモクゾンにては何れも裝甲列車及貨物列車に兵員を乘せ頻りに前進準備をなし居れり（浦鹽來電）

セ將軍過激化説

ウエルフネウヂンスクの過激派新聞の報道に曰くセミヨノフ軍は共産黨の一人に對し勞農政府トロツキーに對し爾今過激派に加擔し其の命令に從ふことの請願取次方を依賴せりと同時にブルジロフ將軍の勢力下に歸する事を聲明せりと（哈爾賓來電）

和議の裏面に怪人

北京政府廣東廣西兩省の局部和議は成立したりと信ずべき理由あり雲南及上海方面は之に依りて反感を高めたり其背後には怪人潛みつゝありと（上海來電）

巨頭天津に集る

張作霖、曹錕、李純等天津にて南北和議問題、軍費、兵財政等の重要問題を協議中なるが之れが決定進行を計る爲新總理は八日急遽天津に赴けり（北京來電）

汕頭攻撃に着手

陳炯明の廣東軍は梅縣に退却せり政府軍一師團林虎將軍の軍隊は桂陽に着し政府軍は汕頭攻撃の爲合同せり（廣東來電）

對支國際會社計劃

對支借款問題に就ては各國共利害關係を異にし容易に協定を見るに至らず日本の如きも滿蒙除外を提出せるが最近英米佛日四國間に諒解成立し具體的に進行を見る筈にて今秋十月には米國に四國財團會議を開催する豫定なるが借款の前提として支那に對する放資其他事業を[illegible]

戰役關係行賞近し

地方官制改正審議

地方官制改正は十日の閣議に於て決定の筈なるが[illegible]

政府持米拂下時期 或は常平倉設置乎

農商務省は貯藏外米を拂下ぐべく目下調査中なりしが調査略ぼ終了せるを以て本月十五日頃には拂下げを決行すべし而して政府の所有外米は五十三萬石にして内東京二十五六萬石其他大阪神戸に十三萬石位宛貯藏しあるも今回の拂下げは約十萬石に過ぎざる模樣なり尚政府に於ては外米の拂下を繼々決行するや否やに就ては甚だ疑問にして拂下げの爲に市場の相場を脅威するの虞ありとせば將來に亘り貯藏をなし置くの手段を講ぜざるべからざるが故に農商務省局首腦者間には外米の貯藏を機會に常平倉の機を開くべしとの意見を有するものありと（東京來電）

鐵道材料補給根據

[illegible]（東京來電）

撫順炭値下

古賀長官旅程

鮮人の心裏 川村警保局長談

月客貿易概況

道知事に對する總督指示（五）

學務に關する件

第十九 中等學校の增設

第二十 私立學校の設置

第廿一 學校と外部との連絡

第廿二 教員の養成及其の指導獎勵

慈惠醫院增設地決定

經濟概況 依然閑散不振

京城金融概況

各種商況

朝鮮自動車 交通路開拓を看板に自己の運命を開かんとした計劃よりは結極金の問題

泡沫會社（三）

風塵録

飛行機

本尊様

出す事

[illegible]

獨逸は能く日本の眞意を知る

日本の金に獨逸の材料

船がないから通商は困難だが留學生は近々に收容出來やう

焦眉の急務は戰後の回復と獨逸代理大使は語る

獨逸代理大使ゾルフ博士は語る

甚だ遺憾

日獨貿易

留學生に

軍職を去

研究をな

不景氣の拾ひ物

思ひがけない

今年の冬は燃料に不自由せぬ 撫順炭が無制限に供給される

給炭計劃

相當値下

明治神宮 地鎭祭の獻詠 様式は御歌會と同様

貯炭過剩

學生や勞働者に化け續々内地に入込む不逞鮮人

其筋では嚴重な警戒

郵便飛行

大規模の 五十六時間 練兵場發着

殷栗郡守を射殺した不逞團

逃走の途中鮮人巡査を脅迫し辭職又は缺勤續出

一網打盡の期近からむ

郡守射殺犯人逮捕

銃火を交へて四名を斃し四名を捕へ警官一名負傷す

鮮人强盜

内地人を傷け京城に入込む

間島不逞團の末路

殆ど根本的に掃滅さる

全鮮虎疫一萬九千

過半數は濟州島

京城虎疫

府内鄰部に小康

牛を賣った金を騙る 命と釣替の金

成金の家庭に纏はる犯罪の謎の鍵 (四)

一記者の閲魔帖より

淫蕩醉態の總てを物語る中城家の現狀

御妾さん

目撃談に

往來斷絶

風俗壞亂

其心の悶

爭鬪戰を

有髪の尼

帰依に珠數

陰暗な冬空から 柔い春光を望み

惡く言へば 芝居氣が生んだ 儀牲だとも云へる

これを尼僧だとか、まことにかわいさうな事でもある。

早や九星霜

數へ來れば 早や九星霜 ……あらゆる誘惑に打克つて貫徹さ せた。記者はお政さんのこの決心が、あらゆる誘惑に打克つて貫徹されることを衷心から望むと同時に、それとも有髪の尼として法の言葉を唱へて、故人の靈を弔ふてゆくか、髪を斷髪として餘生を捌く（終）

形勢觀望の斥候戰

新に活躍を開始す

十美人投票十二回開票

第十二回 開票

十美人投票 九月十日正午迄

美人投票箱設置場所

商工界の新人と舊人 (二)

高麗人蔘製劑所 支配人 佐々木英萬氏

不況時代

美談ご謂

豫告

第二回豫選締切 九月十五日同

最後決勝締切

御注意

緞帳

手姫

六十九

膨面で大跨に歩く

兵「オ、庄司何うした、此方へ來い」

「イヤどうも御家老様の御容恣外なるお

地のないには驚いて了つた、これ

といへば深山の中にかつて殿のな

しなければならんお前の上であれ

ながら、彼の御師匠に驚いて顔色を

變へるなどとは武士千萬、拙者は

を誘まへて來ました」兵「何だ師匠

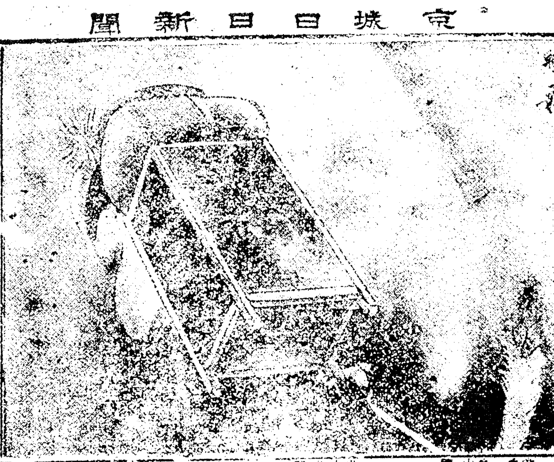
を捕まへて來た」庄「御免下さい

是れは御師匠といふ人で、今落面のあ

つた處に見えたから早速取押さへ

たが、何處までも刻久地のない奴

老人で、學守といふは六十五六の山奥にばかり住んで居て、人を見附けないから、殿を見くして三人を見詰めて居ります 兵「お前は何者か、山深い獣師の御師匠といふは是でございますか」學守「ア、然様でございます」兵「治経此處へ人が通ふ事はあるかな」守「イヤ斯んな山奥の事だから年に一度の人が來るだけ、他に此山ドント人の往來はないよ、私は此山深に出来る物を食べて寄守をして居る、餘り里へも出る事がない」兵「ハヽア、殿も日の暮に間もないに、此の山奥に踏迷ひ一夜の宿を乞ふがうにも宿はなし難儀致して



この通りジタバタ致し居ります」と後手に縛り上げられ返つて居りましたが、兵「助長、師獣といふは何だ」兵「何だか實は存じませんが何うせ碌な奴ぢやありますまい、遊び放せば又何をするか知れませんから、斯うして縛つて置きます」と庄司が拳を固めてポカリ〳〵師獣の頭を殴ると、ガサ〳〵と蠢いて其儘死んで了つた、斯ういふ人間に出遇つては師獣でも何でも堪まつたものぢやない、其儘放り出して、庄「サア御家老様ソロ〳〵出掛けませう」兵「イヤどうもお前のやうな乱暴な者はない、併して今の師獣と大雨の後に大きに涼しくなつたが何う參つたら人家があるか、何うも此の深山に藥師堂があるといふ事は里人に聞いた、せめて其藥師堂なりと尋ね當て様子を聞きたいものだ」庄「左様でございますな」話しながら又少々參りますと庄「ア、御家老様、彼所に燈が見えます」兵「ドレ〳〵」……える、殊によつたら彼れが藥師堂

居りますが、如何なものでございませう、此處に居る藥師と六十六部と私と三人、此の堂へ御泊下さる譯には參りますまいか」守「折角だがどうも泊る譯にいかない、泊めた處で着せる物はなし、食べる物はなし其れよりはモウ少し行くと百姓家がある、其處へ泊んなさるが宜いだらう」「ア、然やうでございますか、其れでは六部さんモウ些と先へ行つて見ませう、人家があるといふから」庄司が面話らして、「何だ、人家があるならあると早くいへば宜いに泊める譯に行くの行かないのと餘計な口を叩き居る……」と錫杖を突きながら庄司先生膨れ面で大跨に行く、跡から二人クス〳〵と笑ひながら段々山を登り、其の藥師堂から約十町ばかり參りますと、其の景色の良いこと、鐘も音楽も及びません、何といふ花か知りませんが、彼方此方の岩の間に大きく咲いて、其の美しいこと目も醒るばかりでございます

演藝案内

喜樂館

蛇 全五巻

クレオパトラの如き妖婦が中心……最高級の世界的名畫

尼港最後の日 全六巻

本映畫は……に非らず事實記錄の……現代……人類に訴ふべく……と同視されざらんことを

大正館

日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店 櫻井町 電話八七三

●當る九月十日より特別大提供 ●實寫パテーニユース百〇三號 ●喜劇「トンニー姉と結婚」

悲劇 女優の末路 全六巻

新らしい藝術に世界の人氣を博した女優が欧洲の旅を終へて帰朝した……

泰西活劇「無人境」全五巻

日活會社撮影 木村長門守重成

戸澤山城守 全五巻

夏尚寒き悽愴なる場面……●毎日晝夜開館 ●料金特に普通

黄金館

國活活映會社特約 黄金町 電話二六六 二三七

當る九月八日より特別大興行

◇新派 慈母の悩み 全五巻

◇名金大會 全四篇八巻

原作者エマーソンフー氏 名優グレ・ス、キユナード、フランシス、フォード氏……

○入場料特に普通

小守入用

十五六歳の少女にして希望者は京城日日新聞社内松崎宛至急申込べし給料面談の上にて

朝鮮郵船株式會社

元山出帆 / 釜山出帆 / 木浦出帆 / 仁川出帆

釜山支店 電話一八四番 / 元山出張所 / 京城取扱店 ○當社ハ福鐵、日本郵船……

朝鮮及滿洲

新裝の九月號 第百五十九號出づ

- 朝鮮經濟界の情勢……有賀光豊
- 勞働問題の理論と實際……鹽澤昌貞
- 國際經濟と國民政策……服部文四郎
- 日米問題に對する所感……澁澤榮一
- 政府の勞働組合法草案評……堀江歸一
- 財界變動と商工業者……小松小太郎
- 尼港及其附近の近況……北斗生
- ▲重要記者▲時事日誌
- 朝鮮關税の改正
- 文化政策の價値を疑ふ……釋尾春芿
- 編輯室より
- ▲風聞駄語▲滿蒙問答
- モスクワ脱出記……中平亮
- 滿洲成金物語
- 猩紅熱とチブス看護法
- 十三道知事訪問記
- 現代臨濟禪に對する疑惑
- 美作より京城まで……北山叩天
- 文藝 漢詩 短歌 俳句

發行所 京城南山町二丁目 朝鮮及滿洲社